

harmony

～次世代へ進む検査 繋がる検査～



令和2年度 日臨技

中部圏支部医学検査学会(第59回)

演題募集要項

会期：令和2年10月31日(土)・11月1日(日)

会場：富山国際会議場 / 富山第一ホテル

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部

担当：一般社団法人 富山県臨床検査技師会



富山市内を走る路面電車(ポートラム)



ますのすし

令和2年度 日臨技中部圏支部医学検査学会（第59回）

「harmony」～次世代へ進む検査 繋がる検査～

開催日：令和2年10月31日（土）～11月1日（日）

会場：富山国際会議場 学会式典・懇親会：富山第一ホテル

学会長	南部 重一（厚生連高岡病院）
実行委員長	澤井 真史（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）
副実行委員長	上野 智浩（富山大学附属病院）
事務局長	中河 竜也（厚生連高岡病院）
事務局次長	村椿 智佳子（富山市民病院）
総務部長	成瀬 智（真生会富山病院）
会計部長	森本 真枝（厚生連高岡病院）
学術部長	油谷 智史（高岡市民病院）
広報部長	野村 亮（JCHO 高岡ふしき病院）
施設部長	石川 幸和（富山市医師会健康管理センター）
富臨技事務局	神保 知子（一般社団法人 富山県臨床検査技師会）
オブザーバー	今村 伸一（一般社団法人 富山県臨床検査技師会 前会長）

令和2年度 日臨技中部圏支部医学検査学会（第59回） 事務局
〒933-8555 富山県高岡市永楽町5-10
厚生連高岡病院 臨床検査部
TEL (0766) 21-3930 FAX (0766) 24-8051
E-mail: chubu59t1@gmail.com (@は半角)

学会ホームページ <https://www.tamt2012.or.jp/society/>

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部

担当：一般社団法人 富山県臨床検査技師会

11月1日（日）は、「とやまマラソン2020」が開催されます。

毎年、全国から約2万人が参加するため、市内のホテルは満室となります。
学会に参加される方は、早めの予約をお願いいたします。

（ホテルの斡旋については17ページを参照してください。）

学会長挨拶



令和2年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第59回)

学会長 南部 重一

一般社団法人 富山県臨床検査技師会 会長

このたび、令和2年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第59回)を一般社団法人富山県臨床検査技師会が担当県となり、令和2年10月31日(土)、11月1日(日)の両日に渡り、富山国際会議場および富山第一ホテルにて開催いたします。

わが国では少子高齢化が進展し、団塊世代が75歳を迎える2025年に向けて、医療・介護ニーズにおける提供体制の適正化を目指し、地域包括ケア体制が推し進められています。今後は地域医療構想に基づき、病床の機能分化を進め、急性期病床の削減や慢性期病院への転換、介護施設の増設、はたまた在宅医療へと転換が進められています。そのような中、臨床検査の分野では臨床検査技師の卒前教育の見直しや医師の働き方改革によるタスクシフト/シェアリングの検討が厚生労働省で進んでいます。将来の臨床検査の活躍の場(病棟業務、検査説明・相談、検体採取、チーム医療、認知症領域検査、在宅医療、がんゲノム医療等)を広げるためには、今後の我々の意識改革とその取り組みが非常に重要となります。

本学会では、「harmony」～次世代へ進む検査 繋がる検査～をテーマに掲げました。我々が現在から未来へ向けて、AIなどの新技術や多職種との「調和」を強固なものとし、時代の要求に沿った“おわりなき成長”を目指すことを共有し、輝かしい未来への跳躍台となることを模索する学会にしたいと考えております。シンポジウム・市民公開講座・特別講演・一般演題・部門別企画・学生フォーラム・ランチョンセミナー・カフェスイーツセミナー・機器試薬展示などを企画しており、皆様の参加をお待ちしております。

「パノラマ キトキト 富山に来られ」立山連峰から富山湾にかけての「雄大な自然景観」と、魚介類をはじめとする「新鮮な食」という、特徴ある観光資源の魅力・イメージを端的に表現したキャッチフレーズ。学会と共に富山らしさを堪能頂ければと存じます。

最後に会員の皆様には一般演題の登録をお願いするとともに、会員の皆様、賛助会員の皆様、学生の皆様には多数のご参加を心よりお待ちしております。

学会企画

1. 特別講演 令和2年11月1日(日)

富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 部長

仁井見 英樹 先生

2. 市民公開講演 令和2年10月31日(土)

国際ジャーナリスト・ミュージシャン・タレント

モーリー・ロバートソン 氏

学会企画 日程概要

	10月31日(土)	11月1日(日)
3.学会式典	○	
4.シンポジウム	○	
5.日臨技企画(学生フォーラム、 中高生進路支援ガイダンス)	○	○
6.部門別企画	○	○
7.一般演題	○	○
8.ランチョンセミナー	○	○
9.カフェスイーツセミナー	○	
10.機器試薬展示	○	○
11.学会懇親会	○	

内容は変更することがあります。

支部シンポジウム

テーマ

“繋がる”ための意識改革

～臨床検査技師の未来のために～

ねらい

我が国が抱える少子高齢化と生産人口の減少などの問題は、すでに我々の医療現場にも人材不足、長時間労働などという形で影響が見え始め、医療業務の役割分担の見直しが喫緊の課題となっている。

昨年、厚生労働省による「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアリングの推進に関する検討会」が発足した。この改革は、医師の過酷な長時間労働を是正するものであり、医師の業務を幅広く医療関係職種に移管/共同化し、医師の労働時間短縮を図る事を目的とし、2024年4月から適用される医師の時間外労働規制に向けて進められている。

医師業務の移管/共同化は、我々臨床検査技師にとっては業務拡大に繋がる好機とも取れるが、法的な制約や慢性的なスタッフ不足、業務量増大、時間外勤務など様々な課題があり、ともすれば逆境にもなりかねない。

しかしながら、我々臨床検査技師が未来の医療現場でも医療の質の向上を保つ職種として信頼を維持する為には、これからの医療、医師の働き方改革に対してどのような意識改革が必要であるのか。改革に伴う多職種との繋がりをどのように深め新たなチーム医療に参画していくのか。検査室のみならず、医療施設として臨床検査技師会として新たに移管/共同化される業務も含め遂行へのプロセスを構築しなければならず、“今”からの我々の取り組みが非常に重要となる。

本シンポジウムにおいて、

- ① タスク・シフト/シェアリングへどう向き合うか
- ② 我々がこれまで行ってきた多職種との繋がりや業務拡大の成果と検証
- ③ 新時代に繋がる新たな領域での臨床検査技師像を見据えた取り組みについて考えてみたい。

各部門別企画

臨床血液部門

シンポジウム

『新人教育の取り組み』 ～血液担当技師の育成～

ねらい

団塊の世代が定年を迎え、次々と新人が入ってきている中、新人や新任技師をどのように育成するかという事が非常に大切になってきている。実際にどのように育成、教育しているか、また技術や姿勢を後進に継承していくためにどうすべきか、どのような工夫しているかなどを共有し、より良い新人教育とは何かを探っていく場としたい。このセクションでは中部圏支部各県・技師会で取り組んでいることを中心に、具体的な研修会内容や目標、アンケートの集計結果を踏まえた総合討議を行い、中部圏のスキルアップを図りたい。

臨床生理部門

シンポジウム

『足並み揃えて、一步前進』 ～生理機能検査の標準化を考える～

ねらい

医療法改正に伴う精度保証に関する義務付けにより、検体検査においては既に標準化が進められている。しかし生理機能検査に関して未だ手探り状態であり、ガイドラインを設ける専門団体も存在するが、ほとんどが各々の施設において個人で活用するに留まることが大半であると思われる。検査室としての生理機能検査の標準化と精度管理を行うために、ISO15189取得施設および、ガイドラインを活用し検査室での基準統一を試みている施設の取り組みを学び、今後への足並みを揃える機会としたい。

輸血・細胞治療部門

シンポジウム

『ISO15189 認定取得に向けた輸血検査部門での取り組み』

ねらい

現在、ISO15189 認定取得の重要性が増してきており、受審を検討している施設も増えてきていると思われる。しかし、いざ受審に向けた準備を始めようとしても、どのようなことが求められているのか、何から始めればよいのか、理解が難しいこともある。今回の企画では、各県の ISO15189 認定施設の方にご講演いただき、今後受審予定の施設の方や、受審を検討している施設の方に、自施設での取り組みについて考えるきっかけにしていいただければと思う。

臨床一般部門

シンポジウム

『2020年！君も一般検査でエースになろう！』

～若手技師のための将来も見据えた勉強法・指導法～

ねらい

現場が若手技師に求めるものは、一般検査に携わる技師として自身の仕事を全うするための基礎力と戦力になるための応用力を身に付けることであるが、昨今では ISO15189 取得への取り組みの他、医療法改正や医師の働き方改革を進めるためのタスクシフトの推進など様々な課題が台頭してきており、従来の指導法のみでは対応しきれない時代を向えているように思われる。従来の指導法も踏襲しつつ、一般検査の次世代エースを育成すべく新たな勉強法・指導法を見出し実践していくため、様々な世代の技師の見解を交え、今後の教育を考える機会としたい。

臨床微生物部門

講演会

『もっと知りたい！耐性菌』

ねらい

薬剤耐性菌は、世界各地で猛威を振るっており、グローバル化が進む中、ヒトと共に国を越え、世界を容易に移動している。そのため、我が国においても、経験したことのない薬剤耐性菌の脅威に、今この瞬間も晒されている。

薬剤耐性菌の感染拡大を防ぐには、目には見えない小さな敵を、まずは『見つける』ということが重要である。そのために私たち臨床検査技師は、敵をよく知っておかなければならない。

本企画により、薬剤耐性菌についての知識をアップデートし、感染症の治療と防御に役立つ機会にしたいと考える。

生物化学分析部門

シンポジウム

『精度管理・精度保証のいろは』

ねらい

医療法改正に伴い、大規模病院だけでなく、中小規模病院でも厳格な精度管理体制が求められるようになった。日々のルーチンに追われる中、正しい精度管理・精度保証をどのように行っていくかそのいろはを改めて勉強し、日々のルーチンの一助にしていただくことを目的とする。

病理細胞部門

シンポジウム

『進むがんゲノム医療 繋がる病理検査』

ねらい

ゲノム医療におけるがん遺伝子パネル検査は、様々な遺伝子変異を明らかにし、一人一人の体質や病状に合わせた個別医療を行う。病理組織検体の品質はゲノム医療の成否の鍵を握っていることは周知のとおりとなっている。今回、がんゲノム医療に携わる施設を中心に講演いただき、情報共有しながら、ディスカッションを行いたいと思う。

臨床検査総合部門

シンポジウム

『AI と奏でる臨床検査・調和する医療技術』

～最新技術から将来の検査像を読む～

ねらい

現在、医療における AI (Artificial intelligence : 人工知能) の導入が急速に進んでいる。胃カメラ、内視鏡、レントゲン、CT、MRI などの映像や画像を用い、「ディープ・ラーニング技術」を活用した診断が行われている。臨床検査領域においても例外ではなく、血液形態検査診断、病理検査診断、そして検査システムと搬送システムの導入、検体検査工程の完全自動化という幅広い分野で行われようとしている。AI 技術の導入によって、医療の質向上と効率化だけではなく、臨床検査技師本来の専門的な業務に集中できる環境を整備することができる。

この企画では、注目される臨床検査領域の AI 技術の一部を紹介し、AI による最新技術が臨床検査にどのような変化をもたらすのか、そして AI 技術を使いこなす我々臨床検査技師のあるべき姿を考え、「臨床検査新時代の幕開け」を共に実感できる場としたい。

一般演題募集要項

令和2年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第59回）へ一般演題を申し込まれる方は、以下の要項を熟読のうえ、演題登録および抄録作成を行って下さい。日臨技会員専用サイトを利用した演題・抄録の同時登録です。

演題と抄録は同時登録となります。一般演題募集の発表形式は口演発表のみとしますが、学会運営の都合により、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

学会実行委員会において決定する発表形式の通知に従って口演用スライドデータを作成してください。

I. 一般演題申込み資格

1. 一般演題の筆頭発表者は原則として会員に限ります。共同発表者は、原則として会員とし、7名以内です。
2. 一般演題申込時に共同発表者の会員番号が入力されていない場合は、非会員とみなし、抄録掲載料として1名につき5,000円を申し受けます（複数の演題を共同発表した場合も5,000円とします）。
 - お申込み後に「8. 抄録掲載料・演題申し込み料金送付先」に記載の口座へ送金してください。
 - 通信欄に演題受付番号・筆頭者名・筆頭者会員番号および非会員氏名を必ずご記入ください。
3. 非会員の取り扱いについては、振込期日（令和2年8月31日）までに非会員の抄録掲載料の入金が確認できない場合、非会員の共同発表者名を抄録から削除します。
4. 学会オープン化に伴い、次の関連学会・団体の所属会員の方も一般演題の申し込みができます。ただし、演題申し込み料金は、1演題につき10,000円を申し受けます。「8. 抄録掲載料・演題申し込み料金送付先」の口座へ、併せて送金してください。
 - 通信欄に演題受付番号・筆頭者名の順にご記入ください。
 - 関連学会・団体（4団体）
 - ・日本臨床検査医学会 ・日本臨床検査薬協会
 - ・日本衛生検査所協会 ・日本臨床検査学教育協議会
5. 発表内容は臨床検査に関係の深いものに限ります。従来知られていなかった新しい知見、また重要な知見が必ず含まれた内容としてください。
 - 応募演題採用の可否については、令和2年度学会実行委員会に一任させていただきます。なお次に示す内容のものはご遠慮ください。

- 1) 他学会に発表した内容および雑誌などで報告されている内容のもの。
 - 2) キット類および機器・器具の単なる使用経験的な内容のもの。ただし、新しい試験または重要な知見が含まれたものはこの限りではありません。
 - 3) 実験方法が明確でないもの、結論が導かれていないもの、考察が不十分であるものなど不備が認められる内容のもの。
6. シンポジウム・日臨技企画・部門別研究班企画などの特別企画は一般公募しません。演者の方には別途ご案内いたします。
7. 非会員の方は、「非会員向け演題募集登録受付専用サイト」からのご登録をお願いします。その際、ログインパスワードが必要になります。
8. 非会員抄録掲載料・演題申し込み料金送付先

【振込先】 ゆうちょ銀行 記号 13250 番号 06543561

他の金融機関からの振込の場合は次の内容でお願いいたします。

店名 三二八（サンニハチ）店番 328 普通預金 0654356

（一社）富山県臨床検査技師会

【 令和 2 年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第 59 回） 】

令和 2 年 8 月 31 日までに上記口座に入金してください。（入金された場合は学会事務局アドレスに、振込人氏名、演題受付番号、発表筆頭者名、振込日をお知らせください。）

Ⅱ.一般演題申込み方法

一般演題は、日臨技ホームページ「会員専用ページ」から会員専用サイトに入り《演題・抄録》から演題を受付けます。

（会員専用ページには、会員番号・パスワードでログインします。）

詳細については、日臨技 HP から会員専用ページにログインし、左下【運用ガイド】内の「全国学会及び日臨技支部学会の一般演題・抄録の登録について」をご覧ください。

- パスワードが不明の方は、会員専用ページからパスワードの発行申請を行ってください。
- やむを得ない理由により、Web 登録が不可能な方は学会事務局までお問い合わせください。

1. 会員専用サイトによる演題申込方法

「日臨技会員の学会一般演題・抄録の登録について」をよく読み、演題申し込みと抄録原稿の入力を行ってください。

入力方法には、①Web上で抄録本文を入力する方法と、②テンプレートファイルをダウンロードし、ワープロソフト（Microsoft Word）を使って抄録を作成する方法があります。①は従来からのWeb入力方法です。②は特殊文字などを使用することができます。

2. 原稿受領等の通知について

「受領メール」は、演題・抄録登録（変更）時に自動送信されます。

受領メールが届かない場合はメールアドレス登録手順を確認してください。

数日経過しても届かない場合は、早めに学会事務局へお問い合わせください。

「演題採否および日時・会場」は、後日電子メールにて通知します。迷惑メールフィルタをご使用の場合は「jamtbranch-event@jamt.or.jp」からのメールを必ず受信できるようメールソフトを設定してください。

学会ホームページでの告示（発送日）以降、通知がない場合は学会事務局にお問い合わせください。

3. 演題申込に関する問い合わせ

【令和2年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第59回) 事務局】

〒933-8555 富山県高岡市永楽町5-10

厚生連高岡病院 臨床検査部

TEL (0766) 21-3930 FAX (0766) 24-8051

E-mail: chubu59t1@gmail.com

※@は半角に置き換えてください。

Ⅲ. 一般演題抄録受付期間

受付開始日：令和2年4月13日（月）

受付締切日：令和2年5月15日（金）

※一般演題申し込み用ホームページは、受付期間終了後閉鎖します。

IV. 発表分野と分類

1. 希望発表分野は、必ず下記から選択してください。

(発表分野は希望に添えない場合があります。)

[希望発表分野]				
01. 微生物	02. 免疫血清	03. 血液	04. 臨床化学	05. 病理
06. 細胞	07. 生理	08. 一般	09. 公衆衛生	10. 輸血
11. 情報システム	12. 遺伝子	13. 管理運営	14. 教育	15. チーム医療
99. その他				

2. 文献検索用キーワードは、大分類、小分類ともに必ず下記から選んで記入してください。

[大分類]			
01. 試薬・機器	02. 迅速検査	03. 基礎研究（検討）	04. 精度管理
05. 統計学	06. 標準化・施設監査	07. システム化	08. 疫学
09. 症例	10. 管理・教育	11. 遺伝子検査	13. チーム医療
99. その他			
[小分類]			
001. 尿定性	002. 尿沈査	003. 尿中微量物質	011. 便潜血
099. その他一般			
101. 内分泌	102. 酵素	103. 蛋白	104. 含窒素化合物
105. 脂質	106. 糖	107. ビタミン	108. 無機質
109. 薬物	199. その他化学		
201. 腫瘍マーカー	202. 補体	203. 免疫グロブリン	204. アレルギー
205. 自己免疫	206. 肝炎ウイルス	207. HIV・ATL	261. 輸血
299. その他血清			
301. 細胞性免疫	302. 血液一般	303. 凝固・線溶	351. 染色体
399. その他血液			
501. 一般細菌	502. 抗酸菌	503. 嫌気性菌	504. 真菌
511. MRSA	521. 薬剤感受性	599. その他微生物	
601. 病理組織検査全般	602. 免疫組織化学	659. その他病理	
661. 細胞検査	669. その他細胞検査		
700. 公衆衛生			
801. 循環機能	802. 心臓超音波	809. その他超音波	

811. 呼吸機能	821. 脳波	831. 筋電図	841. 熱画像
851. 磁気共鳴画像	861. 眼底検査	871. 眼振電図	881. 重心動揺計
899. 心電図・その他生 理検査			
901. 管理・運営	902. 教育		
911. 糖尿病療法指導	912. 栄養サポートチ ーム (NST)	913. 感染制御チーム (ICT)	914. 褥瘡対策チーム
915. 臨床検査情報提供	916. 治験コーディネ ーター (CRC)	917. クリニカルパス	918. POCT
999. その他			

V. 一般演題・抄録の登録方法

**日臨技ホームページから
会員専用ページを開く**

**会員番号とパスワードを
入力してログイン**

**運用ガイドの掲載内容
を下方にスクロールす**

**掲載日:平成26年2月12日
全国学会及び日臨技支部学会の一般演題・抄録の登
録について**

**この説明書に従って
登録をしてください**

VI.口演発表形式

1.発表データの作成・持ち込みについて

スクリーンは1面で、PC（パソコン）による発表のみとなります。

スライドプロジェクタやOHP, VTR/DVD デッキ等の準備はいたしておりません。ご注意ください。

● 発表データの作成については下記の点に注意してください。

- 1) 会場で使用するPCのOSおよびアプリケーションは次のとおりです。
使用環境：Windows10、PowerPoint2010・2013・2016・2019
※Mac OSは使用できませんのでご注意ください。
- 2) 発表データのファイル名は【演題番号】【氏名】 例)【000 富山太郎】としてください。
- 3) 会場で使用する画面の解像度はWUXGA(1,920×1,200)です。これ以外のサイズで作成した場合、正確に表示できませんのでご注意ください。
- 4) 発表データに使用するフォントは、文字化けやレイアウトずれを防ぐため、特殊なフォントは使用せずWindowsに標準搭載されているフォントのご使用をお勧めします。
- 5) PowerPoint上で動画を使用する場合は、標準のWindows Media Player (Ver.10以降)で動作する形式にて作成し、PowerPointに貼り付けてください(ハイパーリンクなどを使用しますとリンク切れの原因になるため避けてください)。
なお、動画ファイルは、符号化や特殊な圧縮(コーデック)をしたものは使用しないでください。また、動画の音声を会場で再生する必要がある場合は、PC受付にてその旨を係員にお伝えください。
※動画データは、PowerPointのデータと共に同一のフォルダ内に保存のうえご持参ください。
- 6) スケジュールおよびスペースの関係上、PowerPointの発表者ツール機能は使用できませんのでご注意ください。
- 原則として、発表データはUSBによる持ち込みとさせていただきます。なお発表データは当日持参してください。事前に郵送されても受付はできませんのでご注意ください。

- 1) USBメモリをお持ちいただく際、混乱の元となりますので、USBメモリ内には発表演題のファイルのみを保存してください。
- 2) USBメモリは、各自にて必ずウイルスチェックを行ったうえで持ち込みください。

- 3) MO・FD・ZIP等は受付できませんのでご注意ください。
- 4) USBメモリはデータを取り込んだ後、すぐに返却いたします。
- 5) バックアップとして、CD-ROMでの予備データをご持参いただくことをお勧めします。
- 6) 取り込んだデータについては、厳重に管理し、学会終了後に適切に破棄致します。

- **PC持ち込みに関して**

特別な理由がある場合を除いて（動画再生に不安のある方等）は、PC持ち込みでの発表は許可できませんのであらかじめご了承ください。やむを得ずPCを持ち込む際は、事前に学会事務局までご連絡ください。

2.発表データの受付について

1) 発表開始の60分前（朝一番のセッションは30分前）までにデータの受付・試写をお済ませください。

2) 試写において、持参したデータおよびバックアップデータも動作せず修復できなかった場合は、スライドなしで発表していただきます。発表者の責任において仕様に合致したデータの作成をお願いします。

3.発表について

発表は、ご自身で演台上のマウス・キーボードを操作して行ってください。その他演台には、モニターとレーザーポインターをご用意しております。

なお、スケジュールおよびスペースの関係上、発表者ツールの使用はできませんのでご注意ください。

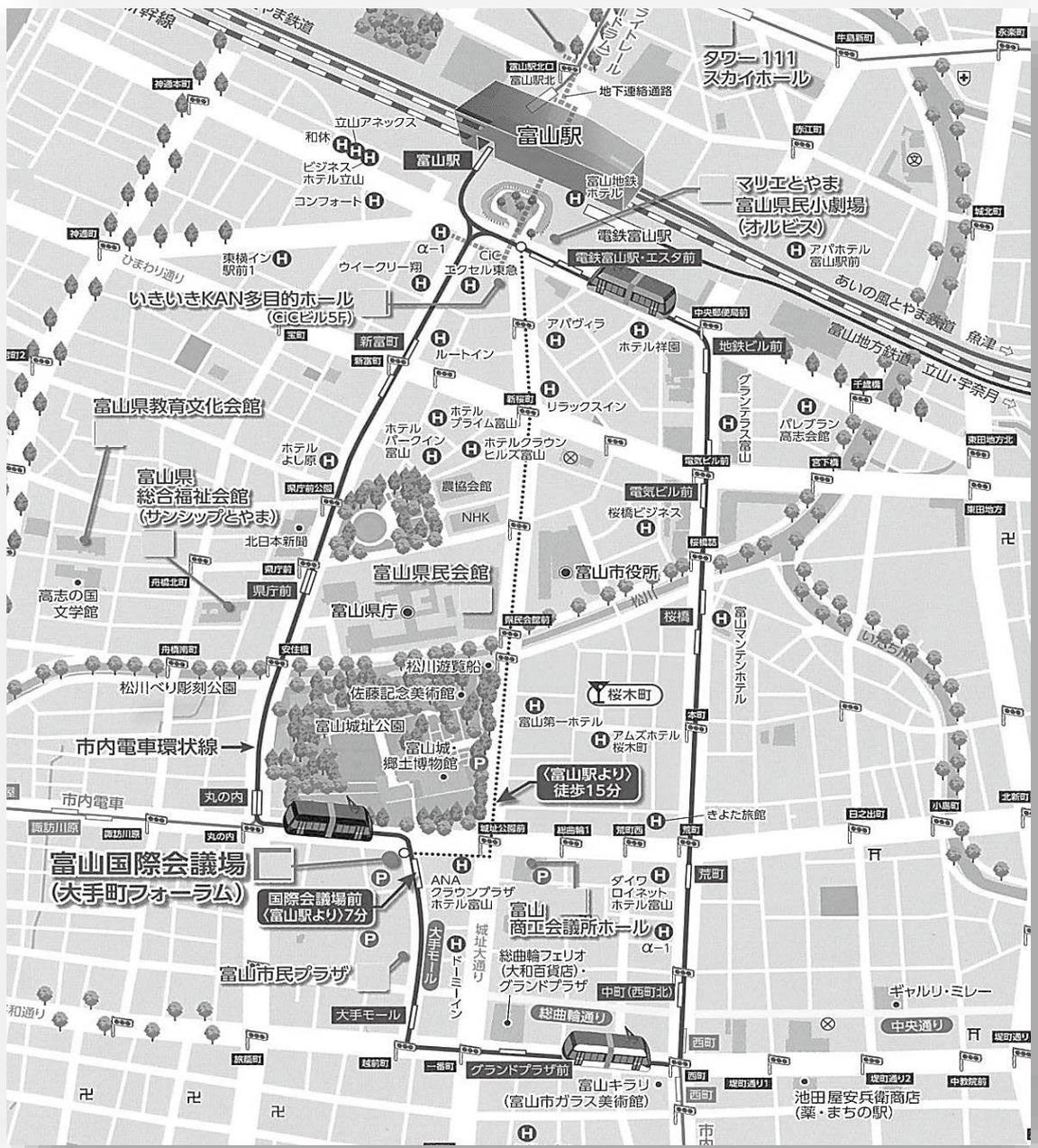
発表時間は、1演題につき発表6分、質疑3分、計9分以内です。

4.利益相反（COI）の開示について

演題発表時、筆頭発表者におけるCOIの開示が義務付けられております。

COIの有無に関わらず、タイトルスライドの次にCOI開示のスライドを挿入してください。スライドのデザイン自体は自由です。

会場案内



交通アクセス

<JR 富山駅よりお越しいただく場合>

バス・・・約5分「城址公園前」下車 徒歩3分

徒歩・・・城址大通りを南へ約15分

市内電車環状線（セントラム）・・・約7分「国際会議場前」下車

<お車（北陸自動車道）でお越しいただく場合>

富山ICより約10分。 富山西ICより約20分。

宿泊施設について

令和 2 年度 日臨技中部圏支部医学検査学会（第 59 回）宿泊のご案内

学会宿泊に関し、弊社「株式会社日本旅行 TiS 富山支店」のご用命賜り誠にありがとうございます。弊社では、ご参加される皆様へご宿泊のご相談を承っております。下記に、ホテルを掲載致しましたので、ご参照くださいますよう、よろしく願いいたします。

今回の学会が皆様におかれまして、有意義なものとなるよう、精一杯お手伝いさせていただきますので、何卒よろしく願いいたします。

なお、当日は「とやまマラソン 2020」開催と同日となりますので、お早めに予約をお願いいたします。

株式会社 日本旅行 TiS 富山支店

【会場周辺ホテルのご案内】

10月30日（金）、10月31日（土）の宿泊のご準備をしておりますので、お申し込みください。

ANA クラウンプラザホテル富山	〒930-0084 富山市大手町 2-3 会場の隣
富山第一ホテル	〒930-0082 富山市桜木町 10-10 会場まで徒歩 6 分
ダイワロイネットホテル富山	〒930-0028 富山県富山市荒町 6-1 会場まで徒歩 6 分
ホテルルートイン富山駅前	〒930-0002 富山県富山市新富町 1-3-3 会場まで徒歩 13 分 路面電車 6 分

お申し込みはこちらからお願いいたします。↓

<https://va.apollon.nta.co.jp/nichiringi59/>

お問い合わせ先

株式会社 日本旅行 TiS 富山支店 担当 花岡・庄司

〒930-0001 富山市明輪町 1 番 230 号

クラルテ 1 階（JR 富山駅構内）

TEL：076-433-1184（代） FAX：076-433-5250

日本旅行 TiS 富山支店 E-mail：tistoyama_mice@nta.co.jp

その他、最新の情報は学会ホームページ

<https://www.tamt2012.or.jp/society/> に掲載いたします。

また、ご不明な点等ございましたら、chubu59t1@gmail.com

までメールにてお問い合わせください。



harmony : TOYAMA 2020



日医技中級圏支部
医学検査学会